

# 加茂病院整備に対する公的支援について(案)

## 1 議会説明内容(平成13年2月)

### (1) 基本的な考え方

豊田市における医療の充実を図るため、公的病院である加茂病院が施設整備に合わせ機能強化を図るものうち、政策的に確保が求められる機能の整備に対し、必要な支援を行う。

### (2) 平成13年2月時点の支援対象・支援内容(想定)

① イニシャルコスト分 80～100億円 厚生連基本構想を基に試算したものであり、今後、計画内容や充実する機能が具体化されるに伴い、この支援額も変動すると予想される。

機能	施設	用地	医療機器
災害拠点病院機能	被災者の収容スペース、免震構造、備蓄スペース、自家発電装置設置スペース、受水槽、ヘリポート	左の内容に対応した面積	
救命救急センター機能	病棟、救急外来、医療機器設置スペース	左の内容に対応した面積	広範囲熱傷用医療機器、指肢切断用医療機器、一般撮影装置、CT、血管撮影装置(循環器用)
地域医療支援病院機能	開放病棟、病診連携室、医療機器設置スペース、医療関係者研修用スペース	左の内容に対応した面積	MR I、CT、血管撮影装置(一般用)、高圧酸素治療装置
高度専門医療	手術室の増設、緩和ケア病棟、感染症対応病室、医療機器設置スペース	左の内容に対応した面積	ライナック(放射線治療機器)、ガンマカメラ(核医学検査機器)
市民意識調査による期待項目(上記を除く)		広い駐車場の確保に必要な面積	

(参考) 平成12年基本構想 総事業費 約343億円 (施設 約210億円、医療機器 約45億円、用地(造成費含)約62億円、その他 約26億円)

### ② ランニングコスト分 救命救急医療等不採算部門の充実に合わせて、毎年妥当額を算出する。

## 2 議会説明(平成13年2月)以降の変更及び追加内容

### (1) 用地

当初の予定では、用地についてはすべて厚生連が取得であったが、移転地が浄水地区となり、敷地内に市有地が44.4%(市有地51,507㎡/全体115,790㎡)を占めることとなったことから、用地支援に関する考え方についての再検討が必要となった。

### (2) 地域要望

平成16年4月6日付けで浄水特定土地区画整理組合及び浄水地区まちづくり協議会から豊田市へ提出された「加茂病院移転事業に関する要望書」に基づき、厚生連が行った整備に対しての支援についての検討が必要となった。

- 要望
- i 壁面後退を10m以上、そして周りに10mの緑地歩道と一体の並木形成
  - ii 中央通り線と南通り線との交差点にゆたたりとした広場空間
  - iii 病院外周を利用し、ウォーキングルートの整備
  - iv 国道沿いの法面の緑化

回答 今後、関係機関で調整を図ります。(平成16年5月6日)

### (3) 追加された機能

加茂病院移転整備に当たって、新たに設置を要望した機能(結核モデル病床、女性専門外来、病児保育室)に対する支援についての検討が必要となった。

⇒支援対象とする。